

横手市議会定例会
市長所信説明

令和8年9月

(令和8年8月17日 告示)

横手市

第3次横手市総合計画

まちの将来像 時代を受け継ぎ 磨き上げ 凛々しく羽ばたくまち よこて

基本計画 政策・施策

政策1〈健康福祉〉

みんなが健康で安心して暮らせる環境と、未来につながるまちづくりを進めます

施策1-1	こどもが生まれ健やかに育つ環境づくりの推進	施策1-4	安心して生活できる障がい者（児）福祉の充実
施策1-2	健康づくりと地域医療の充実	施策1-5	生活に困難を抱える人への自立支援の推進
施策1-3	高齢者福祉の向上と生きがいづくりの推進	施策1-6	支え合いによる地域共生社会の実現

政策2〈教育文化〉

豊かな学びの充実により、生きる力と郷土を愛する心を育みます

施策2-1	横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実	施策2-4	心を豊かにする生涯学習の推進
施策2-2	安全で安心して学べる教育環境の整備・充実	施策2-5	横手の風土に育まれた伝統文化の継承
施策2-3	スポーツ環境の整備とスポーツによる地域活性化		

政策3〈生活環境〉

自然環境を守り、安全で安心なまちづくりを進めます

施策3-1	安全で暮らしやすい環境の整備	施策3-3	災害に強い体制の整備
施策3-2	豊かな自然環境の保全と安全で安心な生活環境の形成	施策3-4	循環型社会の確立と環境保全の推進

政策4〈産業振興〉

人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります

施策4-1	農林業の持続的発展	施策4-4	地域資源を生かした観光・物産振興
施策4-2	活気ある商業の振興	施策4-5	魅力ある企業の育成と雇用機会の拡大
施策4-3	活力ある工業の振興		

政策5〈建設交通〉

地域の特色を生かし安心して暮らし続けられる、リスクに強いまちづくりを進めます

施策5-1	雪国の安全・安心な暮らしの実現	施策5-4	地域特性を生かした快適な居住環境の形成
施策5-2	道路環境の充実と道路ネットワークの強化	施策5-5	安全安心な水道水の供給と快適な生活環境を守る下水の適正処理
施策5-3	公共交通の充実と利用の促進	施策5-6	公園環境の魅力向上

政策6〈市民協働〉

市民と行政が協力し持続可能な地域づくりを進めます

施策6-1	地域コミュニティの活性化
施策6-2	情報共有環境の充実と迅速な情報発信
施策6-3	市内外との交流連携の推進

政策7〈行政経営〉

横手を思い、市の繁栄を実現させる創造的な行政経営を進めます

施策7-1	効率的で成果重視の行政経営の推進
施策7-2	健全な財政運営の推進
施策7-3	人材育成と人材活用による組織力の向上

目 次

1. はじめに	1
2. 新たな施策等への取り組みについて	4
(1) 大雨災害への対応について.....	4
(2) 高齢者応援商品券事業について.....	6
(3) 横手市循環バス運行ルートの見直しについて.....	7
(4) 日直及び宿直の見直しについて.....	8
3. 令和8年度事業等の進捗状況について	9
(1) I R I S Oアリーナ横手の開館について.....	9
(2) 書かないワンストップ窓口について.....	10
(3) 横手市民会館の休館について.....	11
(4) 公共温泉施設の指定管理者候補者の選定結果について.....	12
(5) 横手デマンド交通について.....	13
(6) 横手駅周辺整備について.....	14
4. 補正予算について	15
5. おわりに	15
※行政一般報告編	17

令和 8 年 9 月横手市議会定例会の開会にあたり、市政運営に関する基本的な考えとして所信を述べさせていただくとともに、当面する市政の重要課題についてご説明申し上げ、市民の皆様並びに議員各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

1. はじめに

この夏も各地を様々な災害が見舞っております。7月28日夕方に熊本県熊本地方を震源とする地震が発生し、熊本県宇城市で最大震度7を観測したほか、九州の広い範囲にわたって強い揺れが観測されました。さらに、8月13日夜には千葉県を中心とした豪雨によって道路の冠水に加え、千棟を超える住宅に浸水被害が発生いたしました。

各地での災害によりお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りいたします。また、被災されたすべての皆様に心からお見舞いを申し上げます。加えて、復興に向けご尽力いただいている方々、並びに被災地支援にご尽力いただいている方々に対しまして、敬意を表させていただきます。

また、当市でも7月29日夜から8月2日の豪雨により、市内では山内地域全域及び横手地域の黒川地区を中心に災害が発生しております。被害に遭われた皆様、避難された皆様に心から

お見舞いを申し上げます。また、この度の災害対応に当たられた消防団員の皆様のご労苦に感謝申し上げます。

さて、この夏、一躍「横手」の名を全国に響きわたらせる大きな出来事がありました。第108回全国高等学校野球選手権秋田大会において、県立横手高等学校が優勝し、57年ぶり2度目となる甲子園に出場いたしました。

甲子園をかけた秋田大会決勝当日、横手市生涯学習館^{あ お ー な}A o - n aで開催したパブリックビューイングでは、詰めかけた市民の皆様が地元球児の活躍に声援を送りました。横手高校が安打を放つたびに、また守備でアウトを取るたびに大きな歓声が会場に響きわたり、「観るスポーツ」、「支えるスポーツ」によって地域が活気づく様子を肌で感じたところであります。

市といたしましても、市民や地元企業の応援による一体感の醸成に加えシティプロモーションの観点から、広告掲載や企画展示などの情報発信およびパブリックビューイング等による市民応援事業を行うための経費のほか、選手権大会出場経費への補助などを専決処分させていただき、地元高校の活躍を物心両面から支援いたしました。

8月11日に行われた甲子園の初戦では、残念ながら初戦突破とはなりませんでした。甲子園常連の強豪校を相手に臆することな

く躍動する球児たちの姿が私たちに勇気を与えてくれました。

阪神甲子園球場に詰めかけた大応援団によって一塁側アルプススタンドはあふれんばかりとなり、その応援の様子がSNSでも取り上げられたほか、横手市民会館のパブリックビューイングに約400人の方々が参加するなど全市的な盛り上がりにつながりました。また、ひたむきに試合に臨む選手やアルプスに詰めかけた横手を想う方々の様子などが甲子園の中継を通じて全国に発信され、横手の地域力や強みを印象づけることができたものと捉えております。

これまで懸命に取り組んできた選手はもとより指導者の皆様、長きにわたって支えてこられた保護者の皆様や関係者の皆様全てのご尽力に対し、心より敬意を表したいと存じます。

また、「するスポーツ」の場として、多くの方々の思いや期待が詰まった^{いりそ}IRISOアリーナ横手がグランドオープンし、利用する多くの市民の皆様で連日賑わっております。加えて、市民利用にとどまらず、市内外から数多くの選手や関係者の方々が参加する大会も毎週のように開催され、関係者の皆様からも、より良い施設環境のもとで競技が行えることを大いに喜んでいただいております。

今年度は土日の予約がほぼ埋まっている状況ですが、引き続き近隣の商業施設や観光施設との相乗効果も期待できる立地である

こともPRしながら、部局横断で大会やイベントの誘致を進めてまいります。IRISOアリーナ横手を、これからの当市の発展につなげるための重要な資産として、地域活性化や新たな人の流れの創出に活用してまいります。

さて、6月22日から7月27日にかけて令和8年度市政懇談会を市内10会場で開催し、延べ353人の皆様にご参加いただきました。私からは、「よこて市のお金の話」をテーマに、当市の基金残高の推移や他自治体との比較をお示ししながら、IRISOアリーナ横手などの将来を見据えた必要な投資を行うために計画的に積み立てと取り崩しを行ってきた経緯を説明いたしました。

参加された市民の皆様からは、「シン・十文字拠点」整備に関するご意見や新市民会館建設に向けた応援など、貴重なご意見を多数伺うことができました。

市民の皆様の期待を受け止め、今後も人を引き寄せる魅力あるまちであり続けられるよう、さらなる市の発展に向け取り組んでまいります。

2. 新たな施策等への取り組みについて

(1)大雨災害への対応について

低気圧や暖かく湿った空気の影響で、7月29日夜から7月30

日にかけて、さらに8月1日から2日にかけて当市では大雨となりました。市では、大雨災害警戒部を設置し河川水位を注視しつつ避難所開設に向けた準備を進め、避難所への備蓄品の配送など全庁体制で対応を行ってまいりました。

横手川が氾濫するおそれや土砂災害の危険が高まったため、横手地域の黒川地区などの洪水浸水想定区域と山内地域の大松川地区などの土砂災害警戒区域を対象に避難指示を発令するとともに、避難所を開設し、延べ118名の方々が避難をされました。

この度の大雨災害では幸いにも人的被害はなかったものの、特に山内地域では土砂崩れや法面崩落などが多数発生し交通に支障をきたしたほか、橋の崩落により添架^{てんか}していた水道管が破損して断水が発生するなど、住民生活に大きな被害がありました。

加えて、JR北上線でも、線路の盛土流出や土砂の流入などが20箇所以上確認され、「ほっとゆだ駅」と「横手駅」の間で運転見合わせが続いており、復旧には相当の期間を要することが見込まれております。

災害への支援として市では、浸水した家屋の消毒などの相談や災害ごみの受け入れなどを行ったほか、断水が長期間にわたっていた山内地域の大松川地区や小松川地区の皆様を対象に、8月16日まで市営温泉施設を無料で開放いたしました。

また、ＪＲ北上線に関しては、ＪＲがバスによる代行輸送を開始しましたが、住民の足として１００年受け継がれてきた鉄道を次世代へつなぐべく、近隣自治体や関係機関と連携し、ＪＲ東日本秋田事業本部に対し早期復旧を求める要望活動を行いました。なお、市といたしましても、山内地域で運行しているコミュニティバスを黒沢地区・小松川地区へ当面の間延伸することにより、沿線住民の移動手段の確保を図ってまいります。

市ではこの度の災害を受け、災害発生後速やかに、農地や農業施設、林道、道路、橋りょう、河川の復旧に係る経費を専決処分させていただき、早期復旧に向けた対応に着手しております。

今後も大規模自然災害に対して迅速に対応できる強い横手市であり続けるとともに、被害の未然防止に向けた強靱化の取り組みを進めてまいります。

(2)高齢者応援商品券事業について

長引く物価高騰が市民生活を圧迫しており、特に高齢者の皆様は、外出などを控えることで、心身の健康を損なう恐れがあります。こうした状況を踏まえ、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、令和８年４月１日において満７５歳以上であり、当市に住所を有する約１８，８００人の高齢者の皆様に対しまして、

10月1日から利用が可能な「高齢者応援商品券」を一人あたり3千円分お配りいたします。9月末までには対象となる方々へ順次発送いたしますので、お手元に届くまで今しばらくお待ちいただきたいと存じます。

(3)横手市循環バス運行ルートの見直しについて

横手市循環バスにつきまして、事業実施主体である横手市地域公共交通活性化協議会では、令和8年10月1日より新たなルートでの運行を決定いたしました。

横手市循環バスは平成25年の運行開始以来、毎年延べ4万人を超える多くの皆様にご利用いただいておりますが、目的地まで長時間かかる場合があるとのことご意見を利用者の皆様からいただいております。

今回の見直しでは、令和7年度に実施した実証実験の結果を踏まえ、南北の2つのルートに分けて運行することとし、北ルートでは新たに追廻地区をルートに加え交通不便地域の解消に努めたほか、横手駅東側の周遊性を高めております。また、南ルートでは、安田原や八王寺地区、朝日が丘地区を組み入れるなど、ルートの見直しを行いました。これにより、南ルートでは横手駅東口からIRISOアリーナ横手や秋田ふるさと村へ従来の循環バスで

約 50 分掛かっていたものが、最短 15 分程度で到着することから、利便性が大幅に向上するものと期待しております。

なお、運賃に関しては、物価高騰の影響を受けている市民生活を考慮し、当面はこれまでどおり 1 乗車大人 200 円を据え置くとともに、乗り換え利用者向けに、新たに 400 円で 1 日乗り放題となるチケット制を導入いたします。

また、今回のルート見直しに合わせ、バスの位置情報や遅延状況をお手元のスマートフォンなどで確認することができるバスロケーションシステムを導入するほか、利用者の多い商業施設や乗り換えの拠点となる横手バスターミナルなどには、循環バス車両の運行状況を表示するスマートバス停も設置し、乗り継ぎの利便性や市街地の周遊性の向上を図ってまいります。

今後も、まちづくりや居住状況の変化に合わせ、持続可能な公共交通となるよう適宜見直しを行ってまいります。

(4)日直及び宿直の見直しについて

当市では現在、本庁舎と各地域局庁舎において、土日、祝日に戸籍などの受付を行う日直と夜間における緊急時の連絡などを受け付ける宿直を行っております。近年は日直による戸籍の受付件数や電話対応の業務が減少しているとともに、職員の働き方改革の観点

からも日直業務と宿直業務の今後のあり方について検討を重ねてまいりました。

その結果を踏まえ、令和9年4月から各地域局庁舎で実施している日直及び宿直を廃止し、本庁舎に一本化することといたします。

これにより、令和9年度からは、土日、祝日に加え夜間においても地域局庁舎は閉庁となり、警備システムに移行することとなりますので、何とぞご理解をお願いいたします。

3. 令和8年度事業等の進捗状況について

(1) IRISOアリーナ横手の開館について

7月1日、新たなまちづくりの拠点の一つとしてIRISOアリーナ横手がグランドオープンを迎え、この日を待ちわびた多くの利用者の皆様とともに開館を祝いました。

グランドオープン後は、県民スポーツ大会や市主催のオープニングイベント、第50回全国高等学校総合文化祭など、様々な催しが続いております。8月14日に開催された横手市合併後初となる「夏巡業大相撲横手場所」には、4,000人を超える多くの相撲ファンが市内外から駆け付け、本物の大相撲に触れる貴重な機会となったほか、新アリーナの魅力を体感いただけたものと捉えております。

今後も指定管理者であるフクシ・オーエンス共同事業体や関係団体等と連携しながら、施設の利用促進を図るとともに、スポーツ大会や合宿の誘致、プロスポーツの観戦機会の創出などを積極的に進めることに加え、公演やコンサート等の商業的利用にも努め、さらなる交流人口の拡大や地域の活性化につなげてまいります。

(2)書かないワンストップ窓口について

市民の皆様の負担軽減と窓口業務の効率化を図ることを目的とした「書かないワンストップ窓口」の導入については、現在、本庁及び地域局での運用に向け窓口D X S a a Sの構築と業務フローの見直し作業を進めております。

本庁舎1階においては、ローカウンターへの改修や総合案内カウンターの新設、相談スペースの増設などの工事を予定しており、9月24日から10月2日までの間は、本庁舎1階の窓口機能を2階会議室へ移設して対応することとなりますので、ご不便をおかけしますが、何卒ご理解とご協力をお願いいたします。

10月5日には、本庁舎1階のリニューアルを予定しており、12月1日から地域局も含めた窓口にて「書かないワンストップ窓口」による住民票などの証明書発行を開始し、令和9年2月1日からは転入、転出、出生、お悔やみ等の手続についても運用を順次

開始いたします。市民の皆様が混乱することなく円滑に移行できるよう、段階的に運用してまいります。

(3)横手市民会館の休館について

横手市民会館につきましては、令和6年11月に新横手市民会館整備事業の一時中断を決定したのち、令和7年度に横手市民会館耐震診断及び耐震改修設計業務委託を実施いたしました。その結果、現在の耐震基準に照らすと、大規模地震が発生した場合でも安全に利用するためには、耐震改修工事が必要であることが判明いたしました。また、設備の老朽化も著しく、このまま使用し続けるためには、設備の大規模改修工事も必須となります。

このような状況を踏まえ総合的に検討した結果、新横手市民会館を建設する計画がある現状において、現横手市民会館の耐震改修工事も含めた大規模改修工事を行うことは追加の財政負担が大きく、仮に実施した場合でも施設の機能向上は限定的であることから、改修せずに休館する決断をいたしました。

令和8年3月から5月にかけて実施した利用団体や関係団体への耐震診断の結果に関する説明会では、安全性の観点から休館はやむを得ないとの意見や、せめて令和9年度いっぱいには利用したいとの声が多くありました。こうした意見を考慮し、現市民会館についま

しては、令和10年3月末までは運営することとし、令和10年度から休館とさせていただきたいと存じます。

横手市民会館の休館中は市民の皆様にはご不便をおかけいたしますが、代替施設の案内や横手市民会館にある舞台備品の貸し出しなど、利用団体への活動支援策を講じてまいりますので、新市民会館建設までの間、今しばらくお待ち下さいますようお願いいたします。

新横手市民会館の建設に関して、これまで市政懇談会をはじめ、様々な機会で多くのご要望をいただいております。令和7年度に創設した「横手市民会館施設整備基金」の運用と有利な財源の確保を目指し、建設に向けた歩みを進めてまいります。

(4)公共温泉施設の指定管理者候補者の選定結果について

市の公共温泉施設のうち、「ゆっふる」と「さくら荘」につきまして、10月1日からの指定管理者制度導入を目指し、4月21日から60日間の公募を行ったところ、両施設ともに1者から応募がありました。

指定管理者選定委員会による審査においては、基準点を満たす候補者と選定されたものの、「ゆっふる」については「一部のサービス水準が市の求める基準を満たすものではなかったこと」、「さくら荘」については「指定管理料について合意に至らなかった

こと」などの理由により、市として指定管理者候補者を「決定しない」ことといたしました。

公共温泉施設の運営において、指定管理者制度を導入するという基本的な方向性に変更はありませんが、制度導入までの間、市直営での運営を継続してまいります。

なお、使用料につきましては、昨今の物価高騰や人件費の上昇などにより、増大傾向にある施設運営に係る財政負担を少しでも抑制することを目的として、10月1日から改定いたします。詳細につきましては、市報や市ホームページにてお知らせしておりますのでご確認くださいませようお願いいたします。

今後は、使用料改定後の経営状況や利用動向を踏まえ、公募条件及びスケジュールなどを精査し、改めて指定管理者制度のもとでの運営に向けた手続を進めてまいります。

(5)横手デマンド交通について

物価高騰や人件費の上昇は様々な業種に及んでおり、交通分野においても事業者の経営を圧迫しております。こうした状況から、6月1日より県内のタクシー運賃が改定されました。

この影響により、横手デマンド交通においても、事業費が大幅に増加することから運行事業者や各地域の利用者代表を構成員とした

協議の場で料金の見直しについて検討を進めてまいりました。

新たなデマンド料金に関しては、令和8年10月1日からの改定により料金が全体的に値上げとなります。改定後の料金については、利用者の多い近距離の上げ幅を抑えるほか、複数名で乗車した場合の最低料金を据え置く内容となっております。詳細につきましては、市報や全戸配布チラシ、車両内にてお知らせしますのでご確認をお願いいたします。

市民の皆様におかれましては、今後も路線バスや横手市循環バス、横手デマンド交通などを上手に組み合わせ、日常の移動手段としてご活用いただきますようお願いいたします。

(6)横手駅周辺整備について

横手駅東口第二地区市街地再開発事業につきましては、令和8年度末の全体工事完成に向けて、賃貸マンションと分譲マンション、商業店舗が入る建物の建築工事が進められております。しかしながら、この春からの中東情勢の悪化による建築関連製品の受注停止などの影響を受け、外構工事が来年春以降にずれ込む可能性があるかと伺っております。

なお、市街地再開発事業と並行して進めている都市再生整備事業につきましては、令和8年度に繰り越された側溝整備及び舗装整備

を全て完了しております。

全ての再開発事業が完了し、横手駅周辺に新たな人の流れが生まれることを期待しております。

4. 補正予算について

今議会に提案しております一般会計補正予算についてご説明申し上げます。

今回の補正は、21億9,960万円の増額で、補正後の歳入歳出予算総額は、606億2,340万円であります。主な事業と事業費を申し上げますと、

- | | |
|--------------|---------|
| ◎ 降雹被害緊急支援事業 | 2,800万円 |
| ◎ 獣害防止対策事業 | 540万円 |
| ◎ 学校給食費支援事業 | 934万円 |

などであります。

5. おわりに

今議会に提案しております案件については、諮問案件5件、専決処分などの報告案件3件、同意案件4件、承認案件2件、令和7年度一般会計歳入歳出決算など決算認定10件、条例案件3件、契約関係、財産などその他案件5件、令和8年度一般会計補正予算案な

ど補正議案 3 件の合計 3 5 件であります。

以上、よろしくご審議くださいますようお願い申し上げまして、
所信説明といたします。

行政一般報告編

～ 6月議会定例会以降の行事等について ～

令和8年6月議会定例会以降の行政一般報告

目 次

(1)「釣りキチ三平の里」体験学習館アドベンチャーキャンプ	20
(2)マンガが結ぶ夏の体験学習「エンジョイ！マンガロード」	20
(3)増田小学校の農業体験交流学习	20
(4)第45回あやめまつり	21
(5)第53回雄物川駅伝競走大会	21
(6)おもフェス2026	21
(7)第28回は・は・は祭	22
(8)第55回田楽灯ろうコンクール	22
(9)第43回関東地区大森町ふるさと会	22
(10)大森産ブドウのワイン発売40周年記念式典及びパーティー	23
(11)第41回首都圏十文字会総会	23
(12)夏のクリーンアップ(夏季道路一斉清掃)	23
(13)2026大雄サマーフェスティバル	24
(14)2026あきた水と緑の森林祭	24
(15)「食農フェスタ」の開催	24
(16)第23回よこての全国線香花火大会	25
(17)雄物川郷土資料館第1回特別展「横手の民俗行事～農村の祈り～」	25
(18)出羽金沢城跡国史跡指定報告会	25
(19)杉沢谷地中C遺跡の発掘調査	25
(20)青山学院大学考古学コース「考古学実習」	26
(21)体験型木育ワークショップ「木にふれてまなぼう」	26
(22)芸術鑑賞事業「秋田県青少年劇場」	26
(21)横手市子ども会育成連合会事業「水であそぼう」	26
(22)七夕コンサート	27

令和8年6月議会定例会以降の行政一般報告

(23)横手の送り盆 in Ao-na「屋形舟展示」・「サイサイ囃子演奏」.....	27
(24)IRISOアリーナ横手グランドオープン.....	27
(25)株式会社スカイロケッツ秋田との連携協定締結.....	27
(26)夏巡業大相撲横手場所	28

令和8年6月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
まちづくり推進部 (増田地域局)	(1)「釣りキチ三平の里」体験学習館アドベンチャーキャンプ 7月30日から31日の日程で、市内の小学4年生から6年生まで計24名が参加し、「アドベンチャーキャンプ」が行われました。このキャンプは、夏休みを利用した自然のなかでの体験活動と、他の学校の児童との交流などを目的として平成28年度から実施されており、今年で9回目の開催となります。 初日は栗駒山に登山し、山の植物などを観察したほか、夜は体験学習館でのキャンプファイヤーで参加者同士の交流を深めました。2日目はイワナのつかみ取りなどを体験し、2日間を通じて自然の素晴らしさを感じてもらいました。参加したこども達にとって夏休みの良い思い出になるとともに、初めて会う友達と協力しながら活動するなかで、仲間と協力する力やコミュニケーション能力の向上につながる体験となりました。
まちづくり推進部 (増田地域局)	(2) マンガが結ぶ夏の体験学習「エンジョイ！マンガロード」 マンガを活かしたまちづくりを推進している宮城県石巻市や登米市との交流事業「増田っ子塾 エンジョイ！マンガロード」が、8月4日から5日の日程で開催されました。 この交流事業は、平成13年度に旧増田町と宮城県石巻市、旧中田町の3市町で「みちのくマンガロード連絡協議会」を設立したことをきっかけに、平成16年度から冬は当市でスキーなどの雪国体験交流、夏は石巻市や登米市などで交流を行っているものです。 今回、増田小学校から20名の児童が参加し、両市のマンガ関連施設の見学や三滝堂ふれあい公園での登米市の児童との遊び体験など、見聞を広めるとともに夏の思い出をつくりました。
まちづくり推進部 (増田地域局)	(3) 増田小学校の農業体験交流学习 こども達に食と農の大切さを学んでもらおうと、増田小学校5年生の児童21名が6月16日に稲の生育調査と田んぼの生物調査を行いました。 この事業は、増田高等学校や地元女性団体の協力により、5月の田植えに引き続き実施されたものです。「サキホコレ」の身長(草丈)・顔色(葉色)・体格(分げつ)の診断や、様々な生物が田んぼに生息していることを観察・確認しました。 今後も稲刈り、食事会、販売を通じて農業への理解を深めていく予定です。

令和8年6月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
まちづくり推進部 (平鹿地域局)	(4) 第45回あやめまつり 第45回浅舞公園あやめまつりが、6月20日から6月28日までの9日間にわたり開催されました。開会に合わせて開花となり、期間中には彩り豊かな花々が咲きそろい、来場者は園内をゆったりと散策されていました。 今年も、JR横手駅のご協力によるミニ列車の乗車体験が実施されたほか、多くのイベントが行われ、約34,500人の来場者で賑わいました。 このほか、まつり開催前には、地元の各団体や地域住民の皆様による浅舞公園周辺道路のクリーンアップが実施され、環境美化を図るなど、地域との協働の取り組みも行われました。
まちづくり推進部 (雄物川地域局)	(5) 第53回雄物川駅伝競走大会 6月28日、雄物川河川公園をメイン会場に、「第53回雄物川駅伝競走大会」を開催しました。地域、企業、仲間同士などで編成された23チームが、5区間全長13.1kmのコースで襷をつなぎました。今年も「TEAM 佐野A」が46分04秒でゴールし、2連覇を果たしました。また、1区と3区で、区間新記録が出るなど、参加者の思い出に残る大会となりました。
まちづくり推進部 (雄物川地域局)	(6) おもフェス2026 7月20日、雄物川中央公園において「おもフェス2026 Jamaican Music Festival」が開催されました。 地域の若者が実行委員となり開催するもので、地域を元気にすることを目的に、今年で11回目となりました。 東北でも珍しい「スカ・レゲエ」に特化したイベントで、ゲスト11組と雄物川高校吹奏楽部が出演したほか、大曲高校書道部やダンススタジオによるパフォーマンス、こどもたちを対象としたアユのつかみ取りも行われ、会場を盛り上げました。高校生のボランティア協力もあり、約2,700人の来場者で大いに賑わいました。

令和8年6月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
まちづくり推進部 (雄物川地域局)	(7)第28回は・は・は祭 「は・は・は祭」は、平成8年8月8日の「は・は・は」の語呂合わせから始まり、笑顔の町雄物川の夏の風物詩として親しまれてきました。今年で28回目を迎え、8月8日に雄物川庁舎敷地内で開催されました。 今回は開催日が令和8年8月8日と平成8年以来の「は・は・は」ということで、キャミソウルブラザーズ、きり亭たん方、ちえす、ねじなどの秋田県在住の芸人たちが集結し、特別ステージを盛り上げました。そのほか、地元保育園のお遊戯や太鼓、雄物川高校吹奏楽部の演奏もあり、約7,500人の人で賑わいました。
まちづくり推進部 (大森地域局)	(8)第55回田楽灯ろうコンクール 7月19日、「第55回田楽灯ろうコンクール」が、大森地区交流センターを会場に開催され、パレードではお囃子を先頭に、70人のこどもたちが色鮮やかな灯ろうを手に夕暮れの町並みを照らしながら練り歩きました。 コンクールには49点の応募があり、審査の結果、14作品が入賞作品として選ばれ、7月21日から8月14日まで、大森庁舎等に展示されました。多くの市民が作品を目にし、幻想的な夏の伝統行事を楽しみました。
まちづくり推進部 (大森地域局)	(9)第43回関東地区大森町ふるさと会 8月1日、上野精養軒において「第43回関東地区大森町ふるさと会総会並びに懇親会」が開催され、会員や来賓、関係者約110人が参加し、久しぶりの旧交を温めました。 懇親会では、地元実業家山下太郎の生涯を演目とした講談をはじめ、ステージイベントなどのアトラクションで盛り上がったほか、会場内には地酒「大納川」や地元の野菜、加工品の販売ブースを設け、ふるさとの特産品を買い求める会員で大いに賑わいました。 懇親会の結びは、唱歌「ふるさと」の大合唱で締めくくられ、次回の再会を誓い合いました。

令和8年6月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
まちづくり推進部 (大森地域局)	(10) 大森産ブドウのワイン発売40周年記念式典及びパーティー 7月1日、大森産ブドウのワイン発売40周年記念式典並びに記念パーティーが、さくら荘で開催されました。パーティーに先立ち開催された記念式典では、メルシャン株式会社からワイン用ブドウ生産農家4名へ感謝状が贈呈されました。式典後の記念パーティーには、関係者をはじめ大森産ブドウのワインファンなど約150人が参加しました。発売40周年記念企画として、東北が世界に誇るプロオーケストラ「山形交響楽団」から4名の楽団員をお迎えし、演奏会が行われました。参加者の皆様は、地元食材使った料理や美しい弦楽の音色と大森産ブドウのワインを味わいながら、ワイン談議に花を咲かせました。
まちづくり推進部 (十文字地域局)	(11) 第41回首都圏十文字会総会 6月20日、浅草ビューホテルを会場に、「第41回首都圏十文字会総会」が、会員や来賓135名の参加のもと、盛大に開催されました。 総会後の懇親会では、横手市のPRタイム「Viewing/ふるさとの元気！」のコーナーを設けていただき、「あきた十文字映画祭」など地元の旬な話題を存分にお伝えする機会に恵まれました。中でも、横手の魅力営業課の西川課長が歌った大塚愛さんの「さくらんぼ」にあわせてお配りした手土産のさくらんぼは、大好評でした。また、地元出身者による社交ダンスのパフォーマンスや出身小学校の校歌斉唱、恒例の大抽選会などが催され、会場は笑顔と横手弁があふれる和やかな雰囲気になりました。 今後も、首都圏十文字会の皆様とのご縁を大切に、つながりを持ちながら、ふるさとの情報発信と会員相互の親睦・交流に努めてまいります。
まちづくり推進部 (山内地域局)	(12) 夏のクリーンアップ(夏季道路一斉清掃) 地域住民の環境美化に対する意識の高揚を図るため、8月9日早朝、国道や県道などの幹線道路沿線及び河川において「夏のクリーンアップ」を実施しました。7月29日からの大雨災害発生により、当初は8月2日を予定していましたが、8月9日に延期しての実施となりました。当日はごみ拾いのほか、災害により歩道等に流れ込んだ土砂や雑草等の清掃作業を行った地区もあり、クリーンアップの実施により、各地区における災害箇所の発見、報告にもつながりました。

令和8年6月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
まちづくり推進部 (大雄地域局)	(13)2026大雄サマーフェスティバル 7月25日、今年で39回目となる「大雄サマーフェスティバル」を、楽天イーグルススタジアム大雄駐車場を会場に開催いたしました。 このイベントは、大雄地域内の団体からなる実行委員会が企画・運営しているものです。第1部では、たいゆう保育園年長児及び大雄小学校1年生による太鼓演奏、たいゆう保育園年中・年長児による踊りの披露、横手明峰中学校吹奏楽部による楽曲演奏が行われました。また、こどもたちに人気の「カブトムシ木登りレース」のほか、ビアガーデンや屋台の出店で賑わいました。 第2部のステージショーでは、湯沢市出身の「神崎りく」と若手演歌界を代表する「杜このみ」さんが歌声を披露し、来場者を魅了しました。フィナーレは、イベント会場の近くから迫力満点の花火を打ち上げ、フェスティバルを締めくくりました。
農林部 (農林整備課)	(14)2026あきた水と緑の森林祭 秋田県並びに秋田県緑化推進委員会との共催による、県民参加の森づくりの推進を目的とした森林祭を、6月13日、今年度は秋田ふるさと村を会場に開催し、市内外から約3,400人の来場がありました。 開会に先立ち赤坂総合公園で行われた植樹活動には、市内のリトルシニアやスポーツ少年団のこどもたちをはじめ約200人が参加し、野球のバットの原料となるアオダモ200本余りを植栽しました。 当市では合併後初めての開催となり、様々な展示や体験を通じて、森林保全や木材利用の意義をPRすることができました。
農林部 (食農推進課)	(15)「食農フェスタ」の開催 8月5日、横手市園芸振興拠点センターを会場に、テーマを「食と農で明日をつくる！」として「食農フェスタ」を開催しました。 食農フェスタは、園芸振興拠点センターのPRと、市民の皆様に横手産野菜の魅力を発信することを目的としており、当日は、採れたて野菜の即売会や夏野菜の試食会、施設内をクイズで探索するセンタークエストのほか、ホップワーカーの乗車体験等も行い、センター開設8周年を記念したもちまきでフィナーレとなりました。 また、当日が「はっ(8)こう(5)の日」であったことから、会場内で甘酒の振舞いなどを行い、横手の発酵文化をPRいたしました。 当日は、大人からこどもまで約800人の市民の皆様にご来場いただき、横手の旬の野菜や園芸振興拠点センターの魅力を体感していただきました。

令和8年6月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
商工観光部 (観光おもてなし課)	(16)第23回よこての全国線香花火大会 7月18日、23回目となる「よこての全国線香花火大会」が実行委員会主催により開催されました。横手川蛇の崎川原を会場に、国産花火を楽しみながら、故郷を思う気持ちを育み、日本の貴重な文化を体験してもらおうという催しです。 準備の段階から降雨が心配されましたが、昨年に続き川原で開催することができました。過ごしやすい気候の中、浴衣姿の小中高生や親子連れを中心に、約8,400人の方々が会場を訪れ、線香花火の持続時間を競う大会や、大会提供の迫力あるおもちゃ花火の打ち上げなどを楽しみました。 当日は、高校生をはじめとした130人を超えるボランティアが、スタッフとともに汗を流してくれました。また、茨城県那珂市、岩手県釜石市からは観光PRブースを出展いただき、イベントを盛り上げていただきました。
教育総務部 (伝統文化課)	(17)雄物川郷土資料館第1回特別展「横手の民俗行事～農村の祈り～」 雄物川郷土資料館では、5月30日から特別展「横手の民俗行事～農村の祈り～」を開催しています。 主に横手市の農山村部において、豊作への祈りや収穫への感謝を込めて、季節ごとに行われてきた民俗行事を紹介しています。 6月13日と7月11日にはギャラリートークを開催し、延べ12名が参加しました。
教育総務部 (伝統文化課)	(18)出羽金沢城跡国史跡指定報告会 令和8年2月17日付けで国史跡に指定された「出羽金沢城跡」の報告会を、6月6日に横手市生涯学習館Aonaで開催しました。 文化庁の担当者や平泉町の有識者から、史跡の持つ価値と評価について講演をいただき、110名が参加しました。
教育総務部 (伝統文化課)	(19)杉沢谷地中C遺跡の発掘調査 県営ほ場整備事業(みたけ地区)に伴い、杉沢谷地C遺跡の発掘調査を6月1日から6月30日まで実施しました。 調査の結果、当該遺跡は主に平安時代の土器の生産遺跡であり、須恵器の窯跡3基などが確認されました。

令和8年6月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
教育総務部 (伝統文化課)	(20) 青山学院大学考古学コース「考古学実習」 青山学院大学文学部史学科考古学コースの学生が、雄物川地域の沼館城跡及び造山遺跡において、考古学実習を行いました。実習は8月3日から7日までの5日間にわたり、教員3名と大学生・大学院生が発掘現場で汗を流しました。
教育総務部 (生涯学習課)	(21) 体験型木育ワークショップ「木にふれてまなぼう」 6月27日、28日の2日間、横手市生涯学習館Aonaを会場に、「木育」をテーマとした体験型木育ワークショップ「木にふれてまなぼう」を開催しました。 「遊べる」、「DIY」、「体験」、「絵付け」の各エリアにて、木製チップ歩道や木工遊具遊び、丸太切り体験、本立て制作などを730人の方が体験しました。 親子での参加が多く、木に触れて香りや感触を楽しみ、木の良さを体感していただきました。
教育総務部 (生涯学習課)	(22) 芸術鑑賞事業「秋田県青少年劇場」 7月1日、横手市民会館において令和8年度秋田県青少年劇場「サクソフォンとピアノのコンサート」を開催しました。 この事業は、優れた舞台芸術の鑑賞機会を提供することにより、豊かな情操の涵養と健全な成長を目的としており、浅舞小学校、吉田小学校、大森小学校の児童と教員、保護者455人が鑑賞しました。 児童は、様々なジャンルの曲に、時には手をたたき、時には耳を傾けるなど、生演奏の音色を楽しみながら熱心に聴き入っていました。
教育総務部 (生涯学習課)	(21) 横手市子ども会育成連合会事業「水であそぼう」 7月4日、横手市平鹿体育館において横手市子ども会育成連合会事業「水であそぼう」を開催しました。 この事業は、水を使った科学実験遊びや創作遊びを通して豊かな人間性を育むことを目的とし、市内小学生とその保護者、兄弟姉妹を対象に実施しました。 当日は、252人が参加し、スライムづくりや浮沈子、水鉄砲、シャボン玉など水を使った遊びを楽しみました。 なお、事業には横手ジュニア・リーダー7名が運営や講師補助として携わり、参加者の体験活動をサポートしました。

令和8年6月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
教育総務部 (生涯学習課)	(22)七夕コンサート 7月5日、横手市生涯学習館Ao-naにおいて、山形交響楽団の金管三重奏による七夕コンサートを開催し、120人が参加しました。 良質な音楽に気軽に触れていただくことを目的に開催したもので、クラシックから童謡まで幅広いジャンルの曲目が演奏され、華やかな音色が館内に響きわたりました。
教育総務部 (生涯学習課)	(23)横手の送り盆 in Ao-na「屋形舟展示」・「サイサイ囃子演奏」 8月3日から14日にかけて、横手市生涯学習館Ao-naオープンスペースにおいて、地域の伝統文化の紹介と継承を目的に、横手の送り盆で使用される屋形舟を展示しました。 また、8月9日には送り盆まつりを盛り上げる「サイサイ囃子」を、横手囃子保存会の皆様に屋外広場で披露していただきました。 横手の祭りをPRするとともに、祭りへの気運を高める取り組みになりました。
教育総務部 (スポーツ振興課)	(24)IRISOアリーナ横手グランドオープン 7月1日、IRISOアリーナ横手がグランドオープンし、待ちわびた多くの市民や関係者で誕生を祝いました。 入場に先立ち、関係者や利用者の皆様が見守るなか、華やかに薬玉開披が行われ、笑顔と期待にあふれたスタートを喜び合いました。 利用者は、バドミントンやウォーキング、トレーニングなど、様々なスポーツを楽しみながら、心地よい汗を流していました。 また、7月11、12日は市主催のオープニングイベントを開催し、2日間で約3,000人が来場しました。横手ふるさとアンバサダーに就任した齋藤璃佑さんによるトークイベントには、県内外から多くのファンが訪れたほか、スカイロケッツ秋田のエキシビジョンマッチやアランマーレ秋田のバスケットボール教室、ひろみちお兄さんの親子体操教室など、多くの来場者がイベントを楽しみました。
教育総務部 (スポーツ振興課)	(25)株式会社スカイロケッツ秋田との連携協定締結 7月14日、市役所本庁舎において、「横手市と株式会社スカイロケッツ秋田との相互支援・協力に関する連携協定」に係る締結式が開催されました。 2026-2027シーズンから日本バレーボールリーグ(Vリーグ)に参入するスカイロケッツ秋田と連携し、市民の一体感の醸成を図るとともに、スポーツを通じた地域の活性化に取り組んでまいります。

令和8年6月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
教育総務部 (スポーツ振興課)	(26)夏巡業大相撲横手場所 8月14日、IRISOアリーナ横手を会場に、夏巡業大相撲横手場所が開催されました。 当日は、市内外から多数の相撲ファンが訪れ、公開稽古や迫力ある取組を通して、大相撲の魅力を存分に堪能しました。 この巡業は、同施設のオープニング関連イベントの一つとして開催されたもので、スポーツ文化に触れる機会を提供するとともに、交流人口の拡大や地域の活性化につながる催しとなりました。